

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業振興センター

「稲作情報（第1号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第1号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R8 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R8 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R8 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R8 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R8 (hr)	平年比 (%)
4月	1	12.4	14.6	2.2	18.3	19.4	1.1	6.8	10.5	3.7	20.4	26.0	127.5	28.3	29.3	103.5
	2	13.3	14.9	1.6	19.2	20.5	1.3	7.7	8.4	0.7	22.0	24.5	111.4	28.5	26.2	91.9
	3	14.1	17.2	3.1	20.1	21.6	1.5	8.5	13.8	5.3	22.8	21.5	94.3	29.1	12.6	43.3
	4	14.9	18.2	3.3	21.0	22.9	1.9	9.3	14.5	5.2	25.3	9.5	37.5	29.9	15.5	51.8
	5	15.7	16.6	0.9	21.7	21.5	-0.2	10.0	12.8	2.8	27.4	34.5	125.9	30.6	25.0	81.7
	6	16.6	16.3	-0.3	22.7	20.2	-2.5	10.9	12.8	1.9	27.0	28.5	105.6	31.0	7.9	25.5
5月	1	17.6	16.7	-0.9	23.8	21.8	-2.0	12.0	11.7	-0.3	27.2	31.0	114.0	30.9	42.8	138.5
	2	18.3	18.5	0.2	24.5	25.3	0.8	12.8	11.9	-0.9	29.3	0.0	0.0	30.5	51.3	168.2
	3	18.8	20.2	1.4	25.0	28.0	3.0	13.3	13.8	0.5	29.9	0.0	0.0	30.5	53.6	175.7
	4	19.5			25.7			14.0			25.1			30.7		
	5	20.2			26.5			14.7			19.6			30.6		
	6	20.9			27.1			15.6			22.6			34.5		

○移植直後の4月2半旬から4月4半旬までは気温が約2.6度ほど高く推移したが、その後5月3半旬にかけては平年並みに推移した。降水量は、5月4日から現在にかけて降雨のない日が続いている。日照時間は5月に入ってから、平年比130%を超え、多くなっている。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：5月19日）

項目 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	主稈 葉数L	葉色 SPAD	概要
コシヒカリ	本年値	36.3	693	9.5	47.9	・草丈は平年比92%で平年より低い。茎数は平年比160%で多い。 (1株あたり茎数42本程度) ・主稈葉数は、平年と同程度。 ・葉色は平年より濃い。
	前年値	41.9	543	8.9	48.2	
	平年値	39.4	432	9.4	45.0	
	平年比(差)	92	160	0.1	+2.9	

※ 平年値は、H28～R7年度の平均値（SPADのみH27～R6年度の平均値）。

※ 移植日4月6日、栽植密度16.5株/m<sup>2</sup>

（管内の生育状況）

○現在、分けつ発生盛期である。有効茎を確保し、中干しの時期となっている。

まもなく最高分けつ期頃を迎える。

### 3. 今後の管理（七夕コシヒカリ）

#### （1）水管理

○現在、中干しの時期を迎えており、中干し終了後は間断灌水を行う。

例年より分けつが多くなっているため、中干ししていない圃場では至急中干しを実施する。

#### ○中干しの実施時期の目安

有効分けつ決定期

開始時期の目安は、有効茎（1株あたり20本程度の分けつ）が確保できた時期を目途に実施する。

#### ○中干しの期間と程度（強弱）

中干し期間は、天候や土壌の種類、漏水の程度などによって違うが、

目安はおおむね5日～7日。圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいとする。「歩いて足跡が付くが、抵抗なく歩ける硬さ」（写真1、

写真2）が理想である。指先が縦にはいるようなヒビ（強い中干し）は、強い断根を伴い、稲にとってダメージが大きくなるため、避ける。

#### （2）病虫害防除

○作況田病虫害調査（5/19調べ）

- ・葉いもちの発生状況：0株/50株（発生なし）
- ・イネミズゾウムシの食害痕：0株/50株（発生なし）
- ・イネゾウムシの食害痕：0株/50株（発生なし）
- ・イネウンカ類：9頭/54株（海外飛来性害虫 {トビイロウンカ、セジロウンカ} ではない）

○補植用の『置き苗』は、葉いもちの発生源になるため、すみやかに除去する。

令和8年産 作物作付期間気象図  
アメダス観測値(白石)

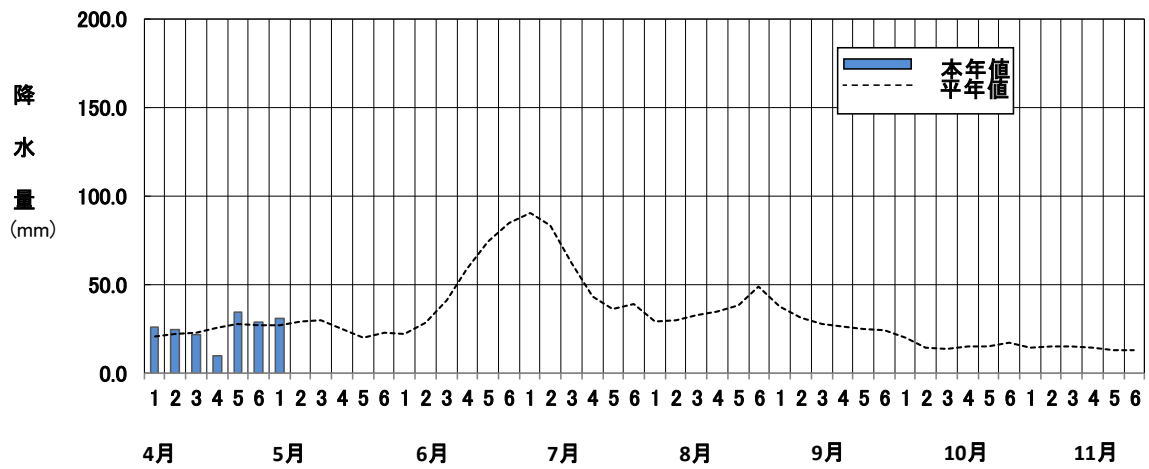
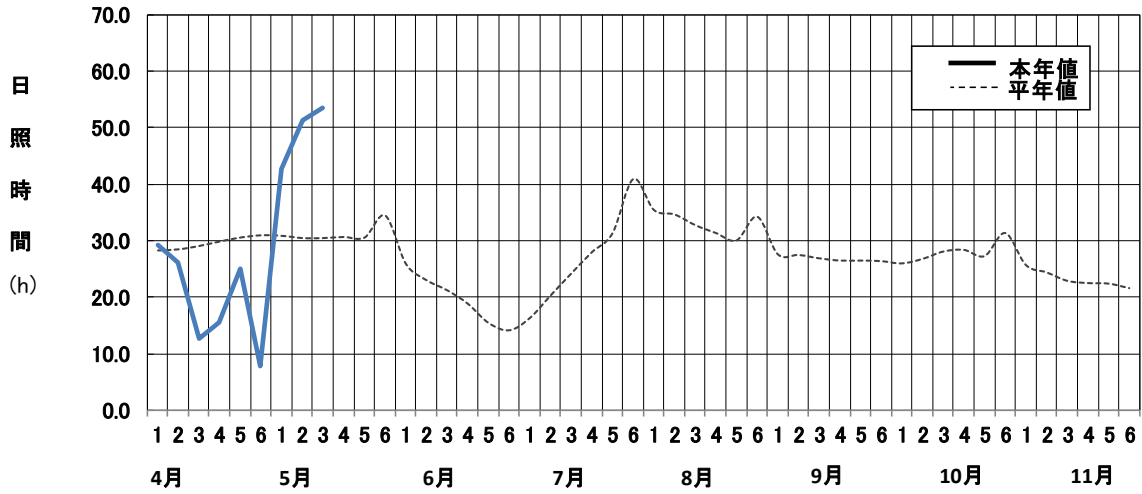
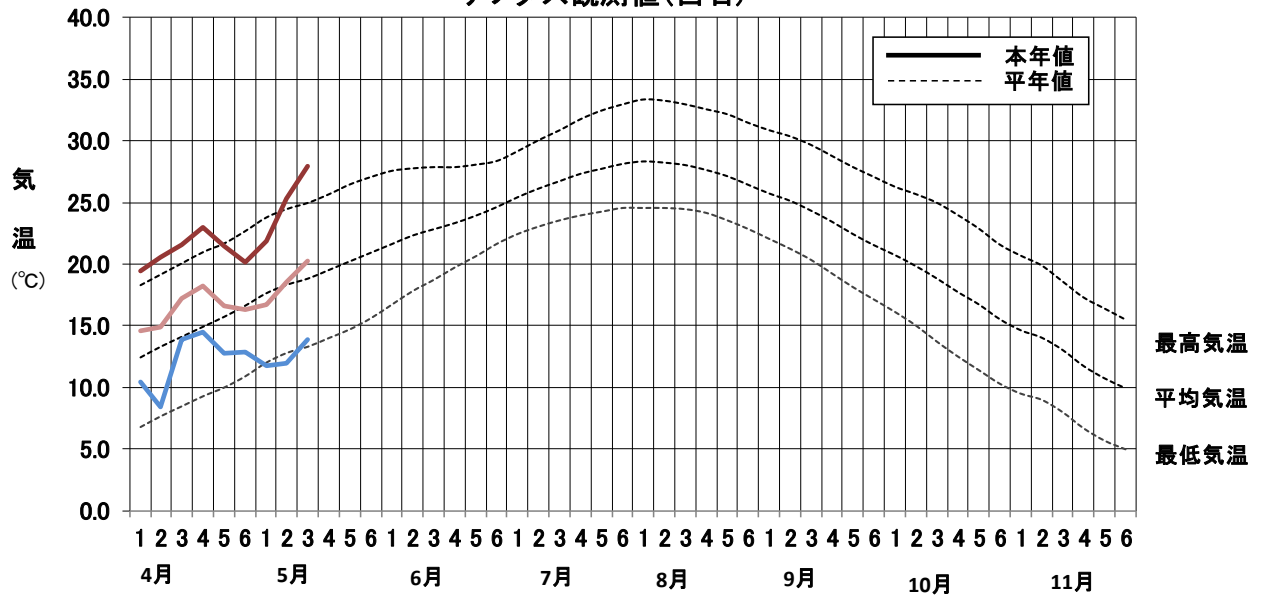




写真1



写真2

分けつ茎調査

※七タコシヒカリ 令和8年4月6日移植（白石町須古）													
	主幹茎	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1 次 分 け つ 茎	3号	4/30	4/30	4/29	5/3		5/4	4/30	5/8	5/1		4/27	5/1
	4号	5/2	5/4	5/1	5/1	5/1	5/2	5/1	5/5	5/2	5/2	5/4	5/6
	5号	5/5	5/5	5/6	5/6	5/6	5/6	5/6	5/7	5/5	5/7	5/5	5/11
	6号	5/11	5/11	5/11	5/13	5/11	5/12	5/11	5/7	5/10	5/12	5/10	5/11
	7号	5/12	5/17	5/17	5/18		5/17		5/17	5/15	5/18	5/16	5/16
2 次 分 け つ 茎 ( 孫 )	3-P号	5/7		5/11				5/13					
	3-1号	5/8		5/11	5/15			5月13日				5/8	5/14
	3-2号											5/14	
	4-1号	5/12		5/15	5/15	5/13	5/14		5/17	5/13	5/15		
	4-2号	5/18				5/18				5/18			
	5-P号		5/14	5/15	5/13	5/13					5/12	5/15	
	5-1号	5/18	5/18			5/17				5/11		5/17	